

報道関係各位



2009年7月吉日

四谷大塚 (7/19 実施) 合不合判定予備テスト 全国最多の 15,323 名が受験

「2010年中学入試 最新レポート」

中学受験の四谷大塚(本社:東京都中野区)は、7月19日(日)、国立・私立中学校を志望する小学校6年生を対象に『(第2回)合不合判定予備テスト』(志望校判定を行う全国レベルの公開テスト)を実施。受験者数は、中学入試の7月実施模擬試験としては全国最多となる15,323名が受験しました。

今回の合不合判定予備テストより志望校エントリーに際しては、来年の入試に向け、各中学校の募集要項が概ね判明してくることから「試験日縛り(試験日1日につき1校のみ)」の原則を適用しております。これにより、現時点での最新の入試情報に基づいた「より本番の入試に近い」志望パターンを反映することができ、受験生の動向を把握することが可能となります。

2009年入試の首都圏における実受験者は54,000名、実受験率17.8%と何れも過去最高を記録したと推定しております。これは、先の見えない深刻な経済情勢であるにも関わらず、教育への支出は減らないことを示すだけでなく、むしろ保護者及び受験生は危機が深刻であればあるほど、より未来を見据えた選択をし、改めて「教育」の重要性を強く認識され、長いお子様の人生を考えたうえでの選択をされ、「より学校を厳選する」という流れは来年以降も継続していくと分析しております。

2009年入試の結果調査によって得られた膨大な入試結果データ(例えば2/1男子最難関校である開成中学校における実際の入試の受験者は1,071名、合格者は436名(繰り上げ推定合格者を含む)。昨年の「合不合判定テスト」を受験いただいた方の入試結果調査で得られた合格者数は、296名で合格占有率は67.9%。同じく2/1女子最難関校である桜蔭中学校では、受験者774名、合格者は260名(繰り上げ推定合格者を含む)、入試結果調査で得られた合格者数は208名で合格占有率は73.5%)、全国一を誇る受験者数、そして最新の志望動向を反映できるシステムによって、精度の高い「合否判定」を実現しております。

2010年入試に向かって

① 志望者を多く集めた中学校は、男子：芝(2回)、女子：浦和明の星女子

今回の合不合判定予備テストで、志望校として多くの受験生を集めた中学校は、男子では芝(2/4)が933名、女子では浦和明の星女子(1/14)が743名となっています。

志望者数の最上位には試験が集中する2/1～3よりも、1月や2/4以降に実施される試験が毎回入ります。志望者数全体は併願者を含みます。よって比較的試験の集中しない有力校にエントリーが集中する傾向があるためです。

実際の入試においても1月試験は合格者に対して入学者が少ない傾向(2/1を第一志望とし、合格した場合入学は見送る)がみられ、後半日程の試験は出願者数に対して実受験者数が減る傾向(2/1を第一志望とし、合格した場合受験を見送る)が特徴となっています。

《表1:男子 志望者数ベスト10 (試験回)》

	学校名	入試教科	入学試験日	今回テストでの志望者数	昨年7月の志望者数	増減	増減率
1	芝2	4	2月4日	933	944	▲ 11	98.8%
2	立教新座	4	1月25日	919	992	▲ 73	92.6%
3	市川	4	1月20日	792	725	67	109.2%
4	浅野	4	2月3日	697	655	42	106.4%
5	早稲田	4	2月1日	615	532	83	115.6%
6	關成	4	2月1日	614	599	15	102.5%
7	渋谷教育幕張	4	1月22日	598	549	49	108.9%
8	早稲田2	4	2月3日	504	484	20	104.1%
9	本郷	4	2月2日	503	518	▲ 15	97.1%
9	本郷3	4	2月5日	503	506	▲ 3	99.4%

《表2:女子 志望者ベスト10 (試験回)》

	学校名	入試教科	入学試験日	今回テストでの志望者数	昨年7月の志望者数	増減	増減率
1	浦和明の星女子	4	1月14日	743	799	▲ 56	93.0%
2	頌栄女子学院2	4	2月5日	580	562	18	103.2%
3	豊島岡女子学園	4	2月2日	551	409	142	134.7%
4	女子学院	4	2月1日	471	618	▲ 147	76.2%
5	青山学院	4	2月2日	451	321	130	140.5%
6	市川	4	1月20日	442	434	8	101.8%
7	洗足学園3	4	2月5日	394	369	25	106.8%
8	共立女子C	4	2月4日	376	375	1	100.3%
9	普連土学園2	2	2月2日午後	341	369	▲ 28	92.4%
10	淑徳与野	4	1月13日	339	324	15	104.6%

■サンデー・ショックからの回帰状況

2009年入試においては、女子学院、フェリス女学院、立教女学院、東洋英和女学院(A)など女子プロテスト系を中心として試験日変更がありました。来年の2010年は従来日程に戻ります。

試験日程の変更により、併願パターンがサンデー・ショック時の「2/1 桜蔭・2/2 女子学院」より「2/1 桜蔭・2/2 豊島岡女子学園」に戻ったことが上記表2より読み取れます。

② 第一志望者を多く集めた中学校は、男子：早稲田、女子：女子学院

第一志望校は受験生にとって「あこがれ」で、学習に取り組むモチベーションを高める存在です。
ランキング形式で見たときに、回を重ねても学校が大きく変わらないことも第一志望校の特徴です。

《表 3:男子 第一志望者ベスト 10 (試験回)》

	学校名	入試 教科	入学試験日	今回テストでの 第一志望者	昨年7月の 第一志望者	増減	増減率
1	早稲田	4	2月1日	444	407	37	109.1%
2	開成	4	2月1日	342	340	2	100.6%
3	武蔵	4	2月1日	272	267	5	101.9%
4	早稲田実業	4	2月1日	266	286	▲ 20	93.0%
5	麻布	4	2月1日	240	261	▲ 21	92.0%
6	慶應普通部	4	2月1日	236	227	9	104.0%
7	駒場東邦	4	2月1日	226	216	10	104.6%
8	浅野	4	2月3日	208	185	23	112.4%
9	芝	4	2月1日	203	254	▲ 51	79.9%
10	桐朋	4	2月1日	177	264	▲ 87	67.0%
11	海城	4	2月1日	170	234	▲ 64	72.6%
13	早稲田大学高等学院中学部	4	2月1日	151	2010年開校		

■2010年新設校「早稲田大学高等学院中学部」

表 3 の男子の表では 2010 年新規開校する「早稲田大学高等学院中学部」が第 13 位に名を連ねています。試験日程は 2/1 の 1 回のみで実施します。3 校競合による動向が注目された同一日程の系属校（早稲田・早稲田実業）については影響がありません。むしろ桐朋（昨年比 67.0%）、海城（昨年比 72.6%）、芝（昨年比 79.9%）と男子難関進学校から「早稲田大学高等学院中学部」へと、現時点では影響が出ています。

《表 4:女子 第一志望者ベスト 10 (試験回)》

	学校名	入試 教科	入学試験日	今回テストでの 第一志望者	昨年7月の 第一志望者	増減	増減率
1	女子学院	4	2月1日	360	352	8	102.3%
2	豊島岡女子学園	4	2月2日	213	211	2	100.9%
3	桜蔭	4	2月1日	205	236	▲ 31	86.9%
4	立教女学院	4	2月1日	185	171	14	108.2%
5	青山学院	4	2月2日	169	151	18	111.9%
6	香蘭女学校	2・4	2月1日	166	168	▲ 2	98.8%
7	雙葉	4	2月1日	161	190	▲ 29	84.7%
8	吉祥女子	4	2月1日	150	183	▲ 33	82.0%
9	早稲田実業	4	2月1日	145	140	5	103.6%
10	共立女子A	4	2月1日	129	124	5	104.0%

※香蘭女学校の入試教科は、2教科または4教科選択です。

③ 2010年注目の新設校の状況

前述の早稲田高等学院中学部は志望者数 176 名(うち第一志望 151 名)を集めています。

同じく、有力大学の附属校として開校予定の中央大学附属は 1 回(2/1)が 163 名(男子 74 名、女子 89 名)、2 回(2/4)が 383 名(男子 200 名、女子 183 名)とこちらも多くの志望者を集めており、注目の高さが伺えます。

また、都立の中高一貫校が 4 校新設されますが、中野地区 18 名(男子 4 名、女子 14 名)、練馬地区 23 名(男子 14 名、女子 9 名)、八王子地区 16 名(男子 4 名、女子 12 名)、三鷹地区 37 名(男子 21 名、女子 16 名)という志望者状況です。

参考データ 1:

2009 年首都圏(小学 6 年生)児童数 303,284 名の 17.8%にあたる 54,000 人が中学受験に臨みました。
中学受験率・中学受験者数いずれも過去最高を更新しました。

全国的には少子化の流れですが、東京を中心に、都心回帰による人口流入が続いており、来春受験に向かう現 6 年生は 302,536 名(前年比 748 減少・0.2%減少)とほぼ横ばいです。

参考データ 2:

■三大模試の受験者数推移

2008年	四谷大塚		日能研		首都圏中学模試センター		合計		
	実施月	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比
	4月	14,026	115.4%	12,784	100.9%	11,126	109.0%	37,936	108.3%
	7月	15,470	106.3%	14,078	95.3%	14,183	100.2%	43,731	100.6%
	9月	20,173	99.7%	14,918	101.2%	16,096	97.0%	51,187	99.3%
	10月	20,869	103.2%	15,409	94.1%	16,647	95.0%	52,925	97.8%
	11月	21,838	100.7%	15,435	102.5%	17,832	105.3%	55,105	102.7%
	12月	21,104	102.5%	15,296	94.7%	17,522	97.0%	53,922	98.4%

2009年	四谷大塚		日能研		首都圏中学模試センター		合計		
	実施月	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比
	4月	13,607	97.0%	11,968	93.6%	10,431	93.8%	36,006	94.9%
	7月	15,323	99.0%	13,213	93.9%	13,026	91.8%	41,562	95.0%

7月実施の模試日程は 7/19 合不合格判定予備テスト(四谷大塚)、7/5 センター模試(日能研)、統一模試(首都圏中学模試センター)

■四谷大塚「合不合格判定テスト」今後の日程

2009/9/20(日)・10/18(日)・11/15(日)・12/13(日)

7/19 実施合不合格判定予備テスト(第2回)の
80 偏差値及び 50 偏差値は、下記をご参照ください。
偏差値一覧以外にも、合不合格判定テスト、保護者説明会(詳細)のほか、
中学受験動向等資料は、ホームページからご覧になれます。

[四谷大塚 公式ホームページ](#) [四谷大塚ドットコム](#)

※下記をクリックするとファイルが開きます

○2009.7/19実施 合不合格判定予備テスト(第2回)

【男子】[80偏差値](#)/[50偏差値](#)

【女子】[80偏差値](#)/[50偏差値](#)

■株式会社ナガセについて■

1976 年創立。大学受験向け予備校の東進ハイスクール(首都圏を中心に 86 の直営校)や、全国 47 都道府県に 800 校舎を配す東進衛星予備校(フランチャイズ契約)を展開。質の高い授業と独自の学習システムによって、東大現役合格 445 名(2009 年実績)など高い合格実績を実現し、現在では約 10 万人の現役高校生が通う、日本最大規模の予備校となっています。2006 年 10 月から四谷大塚(中学受験)、2008 年 2 月よりイトマンスイミングスクールをグループ化するほか、大学生・社会人を対象に東進ビジネススクールを開講。

また、2010 年 10 月より「セサミストリート」の教材を使用した幼児・児童向け英語教室「東京こども英語塾(仮称)」の開設を予定しており、「社会に貢献する人財を育てる」を教育目標とした幼小中高大一貫教育サービスを展開しています。

■四谷大塚について■

1954 年創立。首都圏を中心に、多数の合格者を有名中学に送り出している学習塾。中学受験最強の教科書“予習シリーズ”、全国最大となる 2 万人を超える受験生が競う“合不合格判定テスト”、首都圏の直営 18 校舎(2009 年 7 月に大宮校舎が開校)での質の高い“レベル別指導”、そして豊富な“教育情報”を提供しています。

また、首都圏で定評のあった「四谷大塚」のノウハウを活かして、日本全国の有力塾や東進衛星予備校の加盟校との新ネットワーク「四谷大塚NET」のサービスを、2008 年 2 月から開始しています。

<本件に関するマスコミの方のお問い合わせ先>

株式会社ナガセ 広報部:市村、加藤

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 1-29-2

電話 0422-44-9001 FAX0422-44-9129

ホームページwww.yotsuyaotsuka.com E-mail pub@toshin.ac.jp